




1

I 本校について

中野区立白桜小学校


- 沿革
2009年4月
2つの小学校が統合して開校
- 児童数 543人(18学級)
- 研究の取組
○令和2・3年度
東京都教育委員会
小学校動物飼育推進校
○令和2・3・4年度
中野区教育委員会
「学校教育向上事業」研究指定校



2

II 実践の目的

【都教委】小学校動物飼育推進校
生活経験、既習の内容を基盤に、得られた動物の飼育や動物とのふれあいを通じて、生き物愛護する態度や生命を尊重する態度を涵養する。



【区教委】「学校教育向上事業」研究指定校
生活経験、既習の内容、観察・実験の結果等に基づいて学習集団(学級)ごとに合意形成を行う学習活動を通じて、子どもたちの論理的思考力を高めるとともに、自然現象を読み解きながら読解力の基盤を築く。

3


III お世話の方法

○2年生による教室でのふれあい活動、飼育活動

- ・新型コロナウイルス感染症についての朝の健康観察の後、当番の子どもが飼育小屋に迎えに行く。
- ・放課後、当番の子どもが教室から飼育小屋に送っていく。(1月から2月にかけて、1年生による同様の活動を少しずつ増やしていき、3月からは1年生が2年生に代わり、ふれあい活動、飼育活動を中心に行う。)

○飼育委員会による飼育活動

- ・朝、2年生がモルモットを各教室に連れて行った後、中休みと昼休みに飼育委員会の当番が飼育小屋の清掃、水換え、えさの補充等を行う。



4

III お世話の方法

○2年生の飼育活動

飼育小屋での飼育	8:30	14:00	飼育小屋での飼育
2年生による教室での飼育活動 (持参のえさ(野菜)を与える、体調チェック(飼育日誌)等)			

※ 火曜日を除く

○飼育委員会の飼育活動

飼育小屋での飼育	10:10-10:30	13:05-13:15	14:00	飼育小屋での飼育
中休み				
昼休み				
給食室からもらった野菜、モルモット用のペレット、水の入れ替え 小屋の床、えさの容器、水の容器の清掃 ・チモシー(干草)の補充				

○その他の飼育活動

- ・休日・祝日・夏休み等の長期休業日は、教職員や学校施設管理職員(委託)が担当
- ・冬季休業日は、希望する2年生が各家庭に持ち帰る

5

IV 生活科での主な授業実践例

【1年生】モルモットの視点から 飼育の方法を考える

- ①教室の衣装ケースにモルモットを入れて飼育するために、どのような用意をするかよいかを考える。
- ②生活経験に基づいた視点で発想するので、ベッドや机などの自分の家の中にある家具などを段ボールや画用紙で作成し、衣装ケースに配置する。
- ③掃るときに、準備した衣装ケースにモルモットを入れる。
- ④翌朝、作成した段ボールの家具が壊されていることから、モルモットにとって必要な飼育の方法を考える

【2年生】モルモットの視点から ふれあいの方法を考える

- ①モルモットと一緒に2年生に進級して3ヶ月が経過した時点で、なかよしになっているかを振り返る。
- ②モルモットが楽しい、嬉しいと思っているかをとらえるためには、どうしたらよいかを話し合う。
- ③モルモットが嬉しいときと怒っているときとは、鳴き声が違っていることから、モルモットの鳴き声からどのような気持ちがあるのかを考える。
- ④いくつかある鳴き声をもとに、自分たちのふれあい活動をモルモットの視点になって評価し、よりよいふれあい活動について考える。

6

IV 生活科での主な授業実践

【2年生】モルモットの視点から ふれあいの方法を考える

活動1

モルモットと一緒に2年生に進級して3ヶ月が経過した時点で、なかよしになれているかを振り返る。

みんなは教室でモルモットと一緒に過ごして楽しいようですね。モルモットも楽しいのでしょうか。

どのモルモットも、えさをたくさん食べてくれるから楽しくすごしていると思う。

頭を撫でてあげると、目を細めて気持ちよさそうにしているから、モルモットたちは楽しいと思うな。

ギュッとつまなければ、ひざの上で「キュイキュイ」って鳴いてくれるよ。

7

IV 生活科での主な授業実践

【2年生】モルモットの視点から ふれあいの方法を考える

活動2

モルモットが楽しい、嬉しいと思っているかをとらえるためには、どうしたらよいかを話し合う。

モルモットが楽しいとき、嬉しいときはどうすると分かるのでしょうか。

ひざの上でおとなしくしているときは、嬉しいんじゃないかな。

「キュイキュイ」「キュイキュイ」って鳴いているときがあるけど、そのときは、楽しいのかな、嬉しいのかな。

やさしくつかまないと「グルグル」って鳴いているね。

8

IV 生活科での主な授業実践

【2年生】モルモットの視点から ふれあいの方法を考える

活動3

モルモットが嬉しいときと怒っているときでは、鳴き声が違っていることから、モルモットの鳴き声からどのような気持ち分かるのかを考える

モルモットは、どんな鳴き声で気持ちを伝えているのでしょうか。

モルモットが気持ちよくなるようにして、どんな鳴き声を出すのか調べてみなくてはならないね。

そっと、頭を撫でてあげると、嬉しいときの鳴き声を聞くことができるかもしれないね。

9

IV 生活科での主な授業実践

【2年生】モルモットの視点から ふれあいの方法を考える

活動4

いくつかある鳴き声をもとに、自分たちのふれあい活動をモルモットの視点になって評価し、よりよいふれあい活動について考える。

これから、どうやってモルモットのお世話をしていくとよいでしょう。

持ち方が悪いと「グルグル」と鳴くから、その時は怒っているんだね。すぐにやめなくては。

遊んであげないと「クイッククイック」って鳴くね。遊んであげなくちゃ。

「キュイキュイ」「ブイブイ」って鳴いていると、嬉しそうにしているから、もっと続けましょう。

モルモットは鳴き声を変えて、気持ちを伝えようとしているんだね。鳴き声をよく聞いて、お世話をくふうするといいな。

10

V 飼育委員会によるふれあい活動

○3～6年生を対象とした ふれあい活動

- ・校庭の東側に設けた「モルモットふれあい広場」で、飼育委員会の当番が、希望する3～6年生の子どもの膝にモルモットを乗せてふれあうようにする。



11

第23回全国学校飼育動物研究大会

動物の飼育・ふれあいを通して心を豊かにする取組

中野区立白桜小学校 校長 林 禎 久



12